

農福連携によるネットワーク構築とその農村地域への経済的、社会的な影響

農福連携が進展することにより、農業の人手不足を補完したり、耕作放棄地の増加阻止に役立つなど地域農業にメリットがあること、農村地域での新たな障害者の働く場の創出や工賃の向上に結びつき、障害者福祉にもメリットがあることが明らかになってきています。加えて、先進的な事例では、農福連携を契機に地域内で新たなネットワークが構築されることで、農村地域での雇用創出効果や地域の農家等の所得増加といった経済的な効果や、新たなコミュニティの形成や人的な交流の拡大といった社会的な効果もあることが明らかになりました。

各施設の農業分野での障害者雇用による地域経済・社会への影響

施設名	地域の雇用創出	地域の農家等の所得拡大	耕作放棄地の減少	地域の農家等の労働力不足の解消	障害のある学生に実習の場、就労先を提供	地域住民等に対する交流の場の提供
社会福祉法人「こころん」	健36人 障48人	○	2.3ha	○	○	○
NPO法人「ピアファーム」	健27人 障33人	○	7ha	—	○	○
社会福祉法人「くりのみ園」	健25人 障55人	○	10ha	—	○	○
社会福祉法人「E. G. F」	健51人 障70人	○	4～5ha	○	○	○
有限会社「岡山県農商」	健37人 障72人	—	9ha	—	○	○

社会福祉法人こころんと外部主体との関係構築

